

写真家とともに磨き上げる創造性

写真集制作

作品の世界観を表現するためにはハイレベルな写真処理が求められます。イメージを広げる階調やボリューム感、また紙に刷ることによる深い味わい。そして本としての装丁も含めて高品質印刷の極みを追求します。

当社ではプリンティングディレクターとレタッチ専門スタッフが、長年の美術印刷で培ってきた色調再現技術や最適な印刷台紙の選定を行い、再現性を極限にまで追求した複製画を作り上げます。

いかに原画のリアルさを追求できるか

複製画制作

(レプリカ制作)

作品事例 #2



写真家
公文 健太郎

【第62回 全国カタログ展】
カタログ部門 銀賞

1981年生まれ。雑誌、書籍、広告で活躍しながら、国内外で、人の営みがつくる風景をテーマに作品を制作。日本全国の農風景を撮影した『耕す人』、川と人のつながりをテーマにした『暦川』、新刊の写真集には国内の半島を巡り、都市と地方の距離を写した『光の地形』などがある。
精力的な作品制作の傍ら、定期的に、個展、グループ展を開催。ネットでの発信が主流の中、あえて紙媒体にこだわり、同人雑誌『点』限定150部を2020年4月より刊行。現在、3号『氷点』が好評発売中!!



「点03 (特集：氷点)」
サイズ：A4 32ページ
用紙：【表紙】ヴァンヌーボV (スノーホワイト) 四六判 175kg
【本文】b7トラネクスト 四六判 99kg

作品事例 #1



画家
齋藤 吾朗

独立美術協会会員
日本美術家連盟東海地区代表
宮城県おおさき宝大使



「モナ・リザ模写から」
サイズ：H480mm×W630mm
用紙：ヴァンヌーボV (ホワイト) 四六判 215kg

1947年愛知県西尾市生まれ。多摩美術大学大学院美術研究科修了。鮮やかな赤色を使い、風土や歴史、伝承や人々を題材に描く。ルーヴル美術館「モナ・リザ」をマルク・シャガール以来50年ぶり、日本人初の公認模写したことも有名。
『齋藤吾朗作品集』(求龍堂) 2012年。個展『齋藤吾朗の描けば描くほど』(モナ・リザから赤絵へ) (刈谷市美術館、愛知県) 2017年。1997年以後毎年、齋藤吾朗アトリエ展を開催。

美術印刷は必要な時に必要な分を。

お問い合わせ先



光村印刷株式会社

〒141-8567 東京都品川区大崎一丁目15番9号

03-3492-1190

<https://www.mitsumura.co.jp/>

